

●物部川の課題

- ・川の水量不足による瀬切れや河口閉塞、また、上流からの土砂供給の減少と河床形態の変化などにより、アユをはじめとする生き物の遡上・降下の障害など生態系への影響も生じています。
- ・上流域では、林業の衰退やシカの食害などにより、森林の荒廃が進み、水源かん養の機能が低下しています。
- ・集中豪雨で大規模な山腹崩壊が起きたこと等による濁水問題、洪水後の漂着ゴミによる景観の悪化、物部川と人との関わりの減少などが起きています。



森林の荒廃



シカの食害



物部川のゴミ

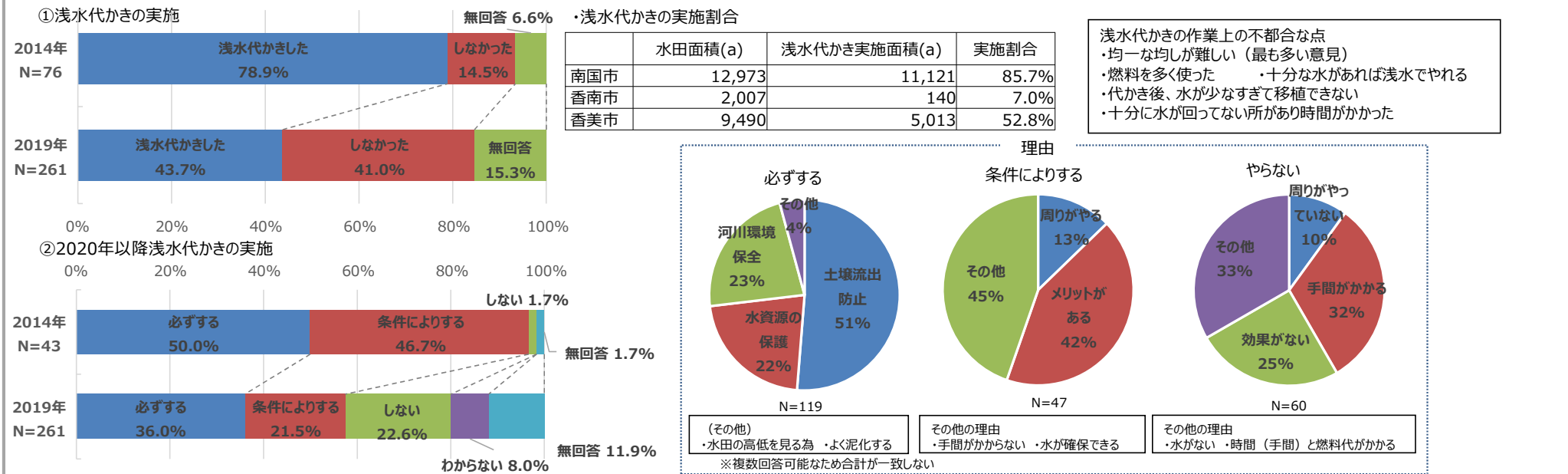
●物部川を守るためのみんなの取組

<p>山</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備（間伐、造林など） ・水辺林の整備 ・シカの食害対策 ・シカの有害捕獲 	<p>人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習の実施 ・イベント等での普及啓発 ・川遊び体験の実施
<p>水質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム放流の工夫や濁水分画フェンスの設置 ・代かき濁水の低減 ・生活排水処理施設の整備 	<p>景観(ゴミ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物部川一斉清掃（毎年7月）

●みんなの物部川を守るためのアンケート調査

目的	浅水代かきの実施状況、止水板の設置状況など濁水軽減の取組状況を把握し、濁度調査結果と合わせて、今後の普及啓発の参考とするため実施
調査項目	2019年作付けを対象 ・浅水代かきの実施状況 ・止水板等の使用状況 ・代かき・田植え前の落水の状況 ・物部川の清流保全
調査対象	香南市、香美市、南国市に在住又は稲作を行っている住民
調査期間	2019年4月から8月（2019年作付け後）
調査方法	回覧で配布、農業関係の会議で配布、JA高知県土長地区稲作部会員への配布等
回収数(率)	11.7%（香美市12.2%、香南市5%、南国市19.4%）

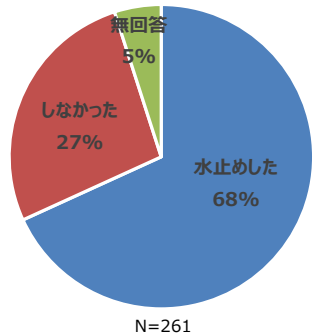
(1) 浅水代かきの実施状況



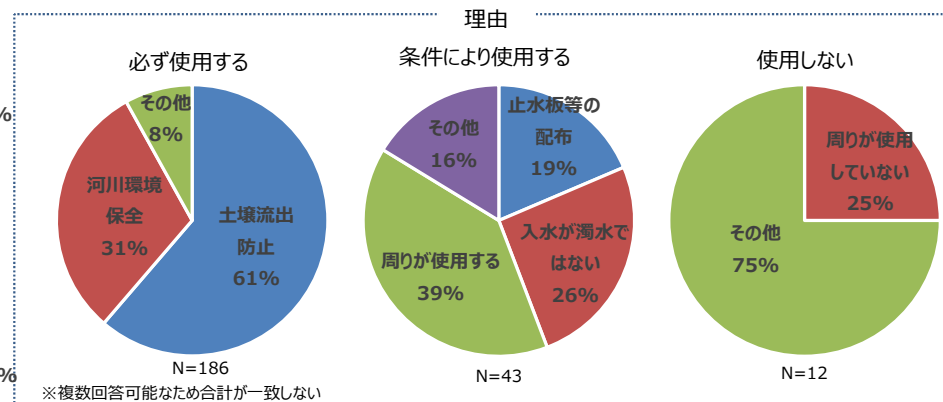
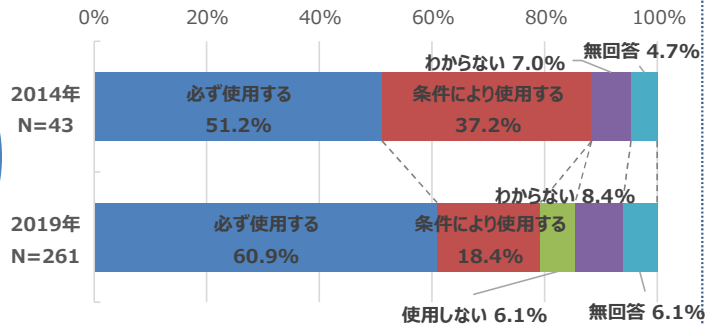
浅水代かきのメリット（土壌流出の防止等）等河川環境保全だけでなく、農業者へのメリットを普及啓発に取り入れる必要があることがわかった

(2) 止水板等の使用状況

① 止水板等を使用しての水止め



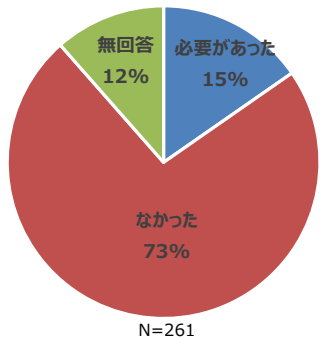
② 2020年以降止水板等を使用しての水止め



土壌流出防止の視点（メリット）を普及啓発に大きく組み込むことが止水板等の使用拡大に繋がり、また、使用する人の割合を少しでも増やす取組が大切だとわかった

(3) 代かき・田植え前の落水の状況

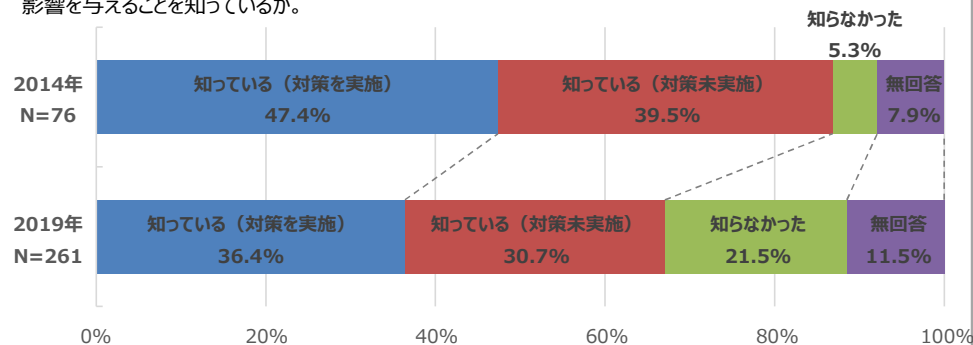
① 強制落水の有無（降雨時の落水除く）



強制落水させる必要があった理由
 ・田植時は浅水がよいので落水する（最も多い理由）
 （マーカーが見えにくい、苗が見えにくい、苗が浮くなど）
 ・代かきから田植えまで、日数が少なかった
 ・土あぜをぬる必要があった
 ・水を入れすぎたため
 ・田植え前は落水しないといけいない
 ・周りが落水させていた

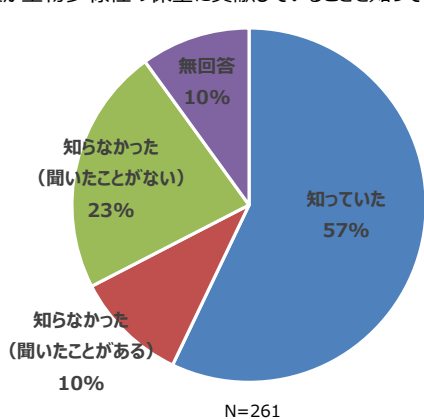
(4) 物部川の清流保全と代かき

・代かきの時期に水田から流出する濁水は、川の水を汚すだけでなく、水辺の生きものの生息環境に影響を与えることを知っているか。



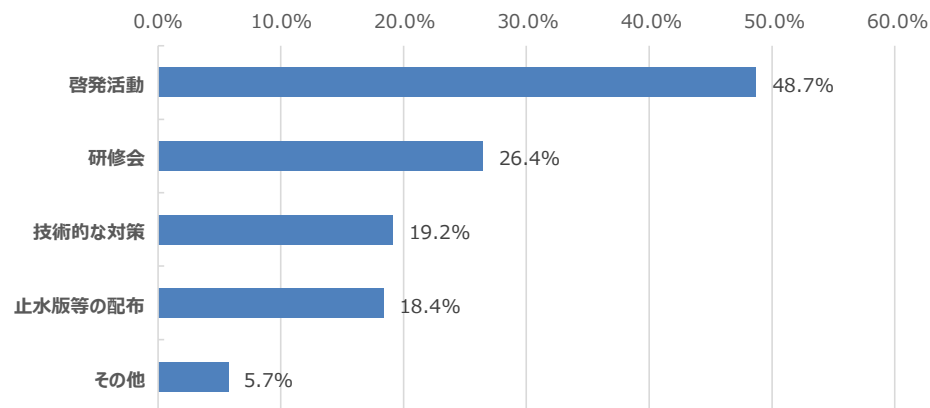
(5) 農業と生物多様性の保全

・農業が生物多様性の保全に貢献していることを知っているか。



(6) 清流保全と農業

・今後、環境にやさしい農業を推進するためにはどのようなことが必要か。



少しでも物部川の環境が良くなるようにこれからもご協力をお願いします